

Steelcase®

WorkValet™





2 始まる新オフィス構想

4 ハイブリッドワークはニューノーマルに

6 ハイブリッド型レイアウト

10 新オフィスを支える新アイテム

12 将来の拡張に備える

14 スマートロック、スマートロッカー

16 統合配線マネジメント

18 将来を見据えた柔軟性

20 仕様

28 「オフィス・ネイバーフッド」の提案

32 チームの「ハブ」をつくる

34 目的地としてのアイコン

40 ランドマーク的存在として演出

Blueprint for a New Day



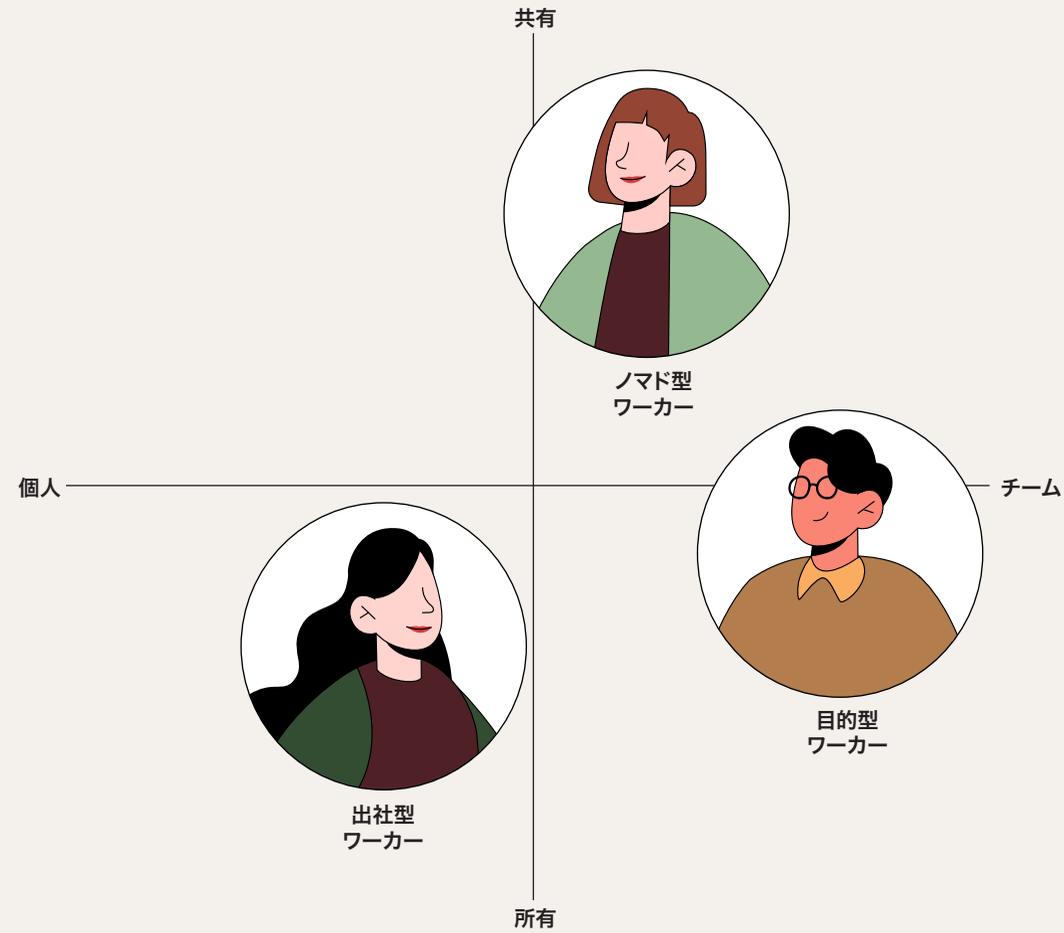
始まる新オフィス構想。出社とリモートを組み合わせた「ハイブリッドワーク」が定着しつつある現在、オフィスは「目的」を持つ場所へと大きく変貌を遂げようとしています。そして、「目的地」としてのオフィスに求められるのは、多様なニーズを満たす「柔軟性」と個を意識した「パーソナライズ」という相反する要素に応えることです。

WorkValet™(ワークバレット)は、より柔軟なハイブリッドワークを念頭に開発されたオフィス収納ロッカー。新たな視点で刷新された革新的な収納構造がポストコロナ時代の新たな働き方の未来をつくります。

「ハイブリッドワークを成功させる秘訣は、
オフィススペースをそれに合わせて変革することです。」

新構想「ハイブリッド・ネイバーフッド」
Work Better 2022

Hybrid is the New Normal



ハイブリッドワークはニューノーマルに。ハイブリッドワークが世界的にもスタンダードになる中、新たな常識がオフィスカルチャーを変え、オフィスのワーカータイプも下記のように多様化しています

「ハイブリッド」ワーカー

- **ノマド型ワーカー** は、出社し、オフィス中を動きながらフリーアドレスで仕事をこなす。
- **目的型ワーカー** は、目的に応じた週2-3日の出社で、固定席を持たない。

「レジデント」ワーカー

- **出社型ワーカー** は、出社し、従来のようにオフィスの固定席で業務を遂行する。

ハイブリッドワーカーの出現によってオフィスでの従業員ニーズが多様化する中、企業の悩みは従来の収納ロッカーがもはや機能しないこと。この新ニーズに対する当社の答えは、新たな働き方にフィットするソリューションとしての収納ロッカーの刷新でした。

調査から分かるワーカーの声

「出社してまず向かうのが個人ロッカーです。」

離席・退社時にデスクの上を片付けるというクリアデスク方針を導入している企業の場合、ロッカーは重要な役割を担う。

「私のロッカーは別の建物にあるため、近くにある同僚のロッカーを利用しています。」

従来のロッカーは、優先順位が低く、オフィスの奥など目立たない場所に設置されがちで利便性に欠ける。

「私物収納とチームの共有収納は別々の場所であって欲しい。」

ロッカーは個人用とチーム用それぞれのニーズに合わせて計画されるのが望ましい。

「サイズの大きなモノを収納したくても棚板を調節できないのが悩みです。」

お菓子や飲料ボトル、感染対策グッズからデバイスまであらゆるものを保管するため、より柔軟な設計と整理整頓できるアイテムが望まれている。

「レインコートを掛ける場所がないのでロッカーをもうひとつ使用しています。」

ジャケットなどを掛けるコートハンガーやワードローブなど個人のニーズ満たすアイテムは必須である。



「他のオフィスを訪問した際に、他人とロッカーを共有するのは少し不快です。」

来客用ロッカーも個人利用できるのが理想である。

「下段のロッカーは使いにくく、場所の変更をリクエストしています。」

ロッカーは使いやすく、かつ便利に利用できることが望ましい。

Design for Hybrid



出社型ワーカー

「出社型ワーカー」は、業務の進め方やフローが決まっているため、固定席と個人ロッカー、また、デスクの周囲に資料を安全に保管できる共有ロッカーが必要不可欠である。



ノマド型ワーカー

「ノマド型ワーカー」の1日のルーティンは不規則で、カジュアルなフリーアドレス席を利用する。

その日の作業内容に合わせて場所を限定せずに仕事をこなし、席に一番近いロッカーを選択。チームとの連携も必須で、コラボレーションスペースや資料等のチーム共有ロッカーが近接していることが望ましい。



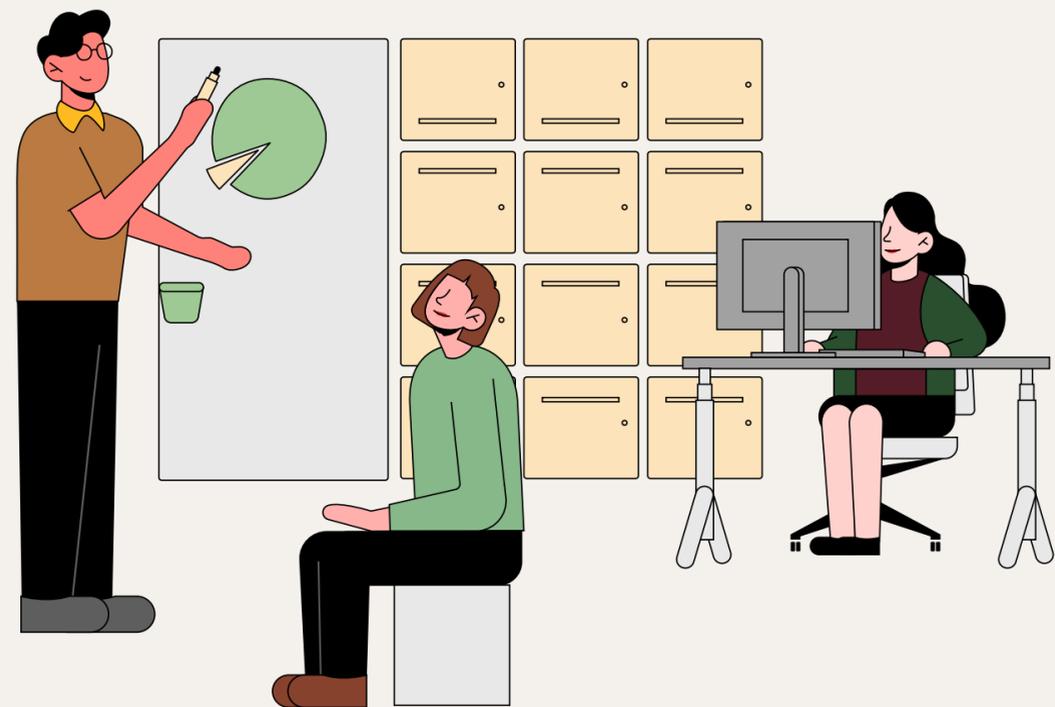
目的型ワーカー

「目的型ワーカー」は、特定の目的を持って週に数日出社するため、スペースをニーズに合わせてより柔軟に利用できることが望ましい。

仕事内容が不規則なため、席やロッカーの事前予約、ビデオ通話や集中ワークを可能にするハイブリッドスペース、コラボレーションに欠かせないチームロッカーが近接していることなどが検討事項になる。

「通常、オフィスでの収納ロッカーは、レイアウト計画後に後付けで設置されます。適応性に優れたモジュール式 WorkValet (ワークバレット)は、スペースの中心的存在として従来の常識をくつがえす新たな活用方法を提案しています。」

アンバー・マシュー / Amber Matthews
リサーチディレクター
Steelcase ワークスペース・フューチャーチーム



Blueprint for Campuses

新オフィスを支える新アイテム。WorkValet は、スペースとテクノロジーの融合を念頭に開発された拡張可能な収納ロッカーシステム。ユーザー目線のシンプルな操作性がオフィス管理の煩雑さを軽減します。



無駄を省いた利便性

WorkValetはテクノロジー活用で企業の業務効率を向上させます。施設管理者は収納ロッカーを効率的に管理・運用できると同時に、従業員は空いているロッカーを探しまわったり、操作に手間取ったりする時間を短縮できます。



スペースの賢い運用

ネットワーク上での収納ロッカーの一元管理やスマートロック(電子施錠)システムの導入は、限られたオフィススペースの効率的活用はもちろん、これからのハイブリッドな勤務形態においては、収納ロッカー数を30~50%削減できます。WorkValetは、従来の収納ロッカーに比べて床面積を最大35%節約します。



価値ある投資

収納ロッカーのネットワーク管理によって、初期投資の回収を短縮できます。スマートロックは、電池式よりも電力が少なく、将来のビジネスニーズに応じて拡張できるように柔軟に設計。スマートロックの平均的投資回収期間は2~8ヶ月と短く、導入へのハードルが低いのも魅力です。



Blueprint for Campuses

Managing Scale

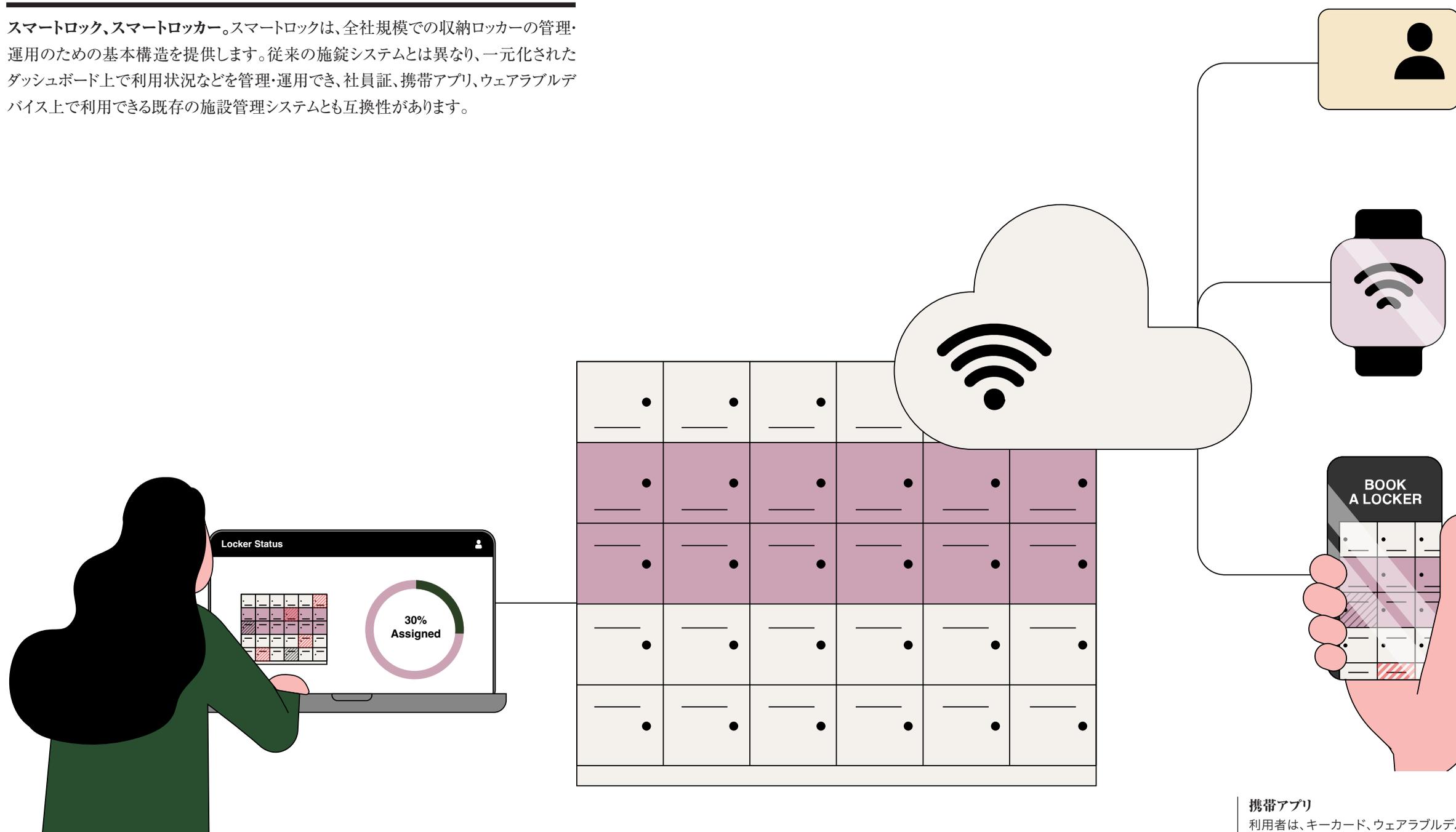


将来の拡張に備える。当社が実施した世界的調査から分かることは、従業員の半数は出社型、残りは出社とリモートのハイブリッド型になるなど、従業員の勤務形態はより多様化するということです。CBRE社実施の不動産調査データからも同様のことが報告されています。今後の課題のひとつは、進化する働き方に合わせて収納ロッカーをいかに効率的かつ効果的に監視・運用できるかということです。

WorkValetは、大規模ネットワークでの管理・運用のしやすさを考慮して設計されています。最新型スマートロックとも完全に統合でき、全社規模の管理をマウスのクリック操作だけで簡単に行うことができます。

Smart Lock, Smart Locker

スマートロック、スマートロッカー。スマートロックは、全社規模での収納ロッカーの管理・運用のための基本構造を提供します。従来の施錠システムとは異なり、一元化されたダッシュボード上で利用状況などを管理・運用でき、社員証、携帯アプリ、ウェアラブルデバイス上で利用できる既存の施設管理システムとも互換性があります。



ダッシュボード

施設管理者は、利用状況などのデータの可視化や分析、また、利用者への割り当て、ルール設定、利用者グループの管理などを1つのダッシュボードで楽に管理できます。

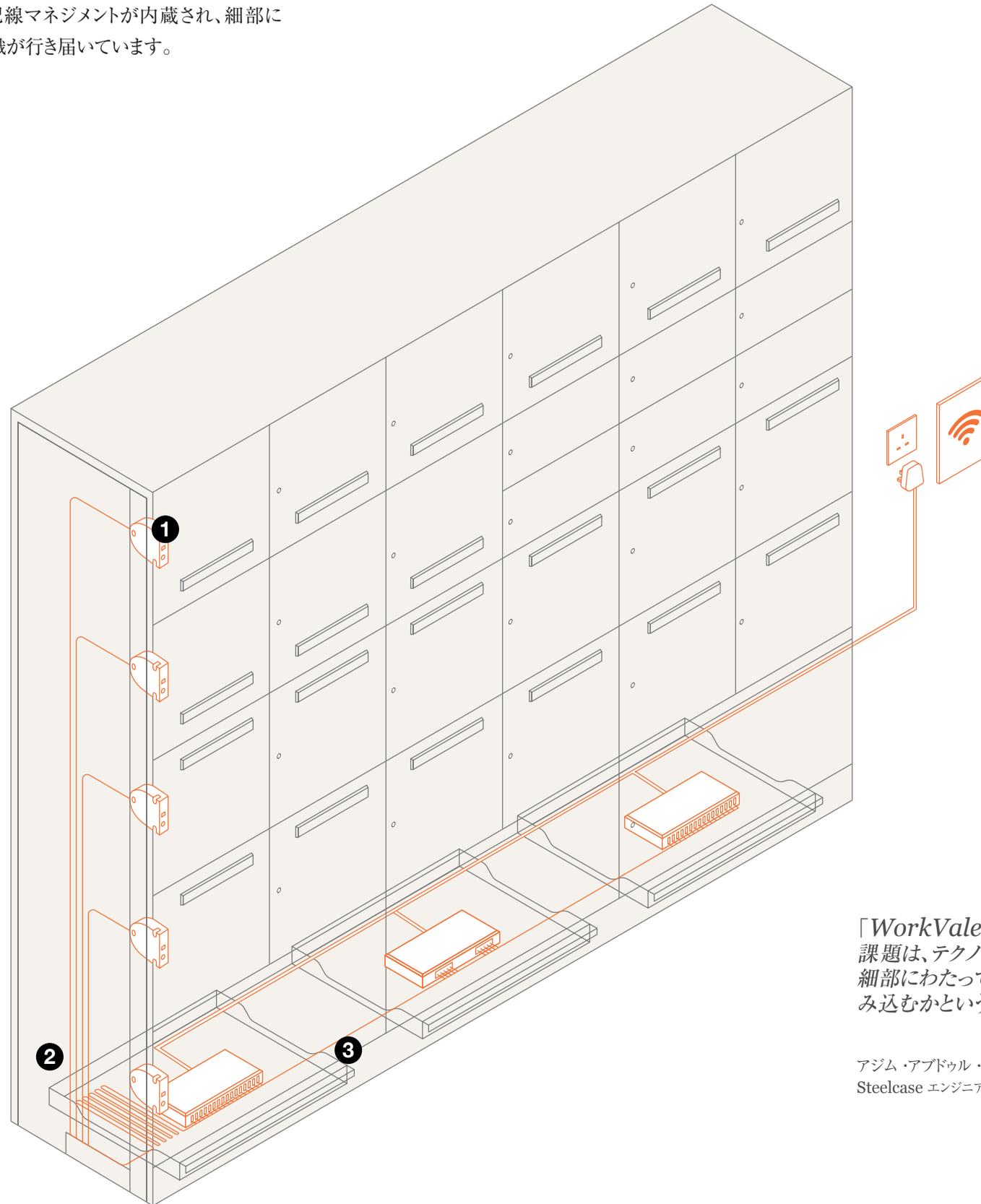
さらに利用状況などの正確なデータ収集が将来の成長戦略にも役立ち、より効率的なソリューションの実装につなげることができます。

携帯アプリ

利用者は、キーカード、ウェアラブルデバイス、iOSやAndroidアプリ上でロッカーを遠隔操作、管理できるため、入社する前に予約席の近くにある個人ロッカーを探して事前予約できます。

Integrated Cable Management

統合配線マネジメント。WorkValetには、デザインを崩さないように配線マネジメントが内蔵され、細部にいたるまで美意識が行き届いています。



「WorkValet 開発にあたっての最大の課題は、テクノロジー要素をシームレスかつ細部にわたって全体のデザインにいかに組み込むかということでした。」

アジム・アブドゥル・ラーマン/Azim Abdul Rahman
Steelcase エンジニアリング ディレクター



① スマートロック



② 大容量垂直配線ライザーでコード類をすっきりと処理



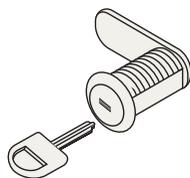
③ 台座の中に格納される配線トレーは、ルーター、コントローラー、コード類などスマートロック用の必要アイテムをすっきりと整理格納できるようにサイズ違いが用意されています。

Lock Agnostic

将来を見据えた柔軟性。一般的な施錠システムと互換性を持つWorkValetは、シリンダー錠、電子錠、スマートロックの取り付け(または後付け)が可能です。

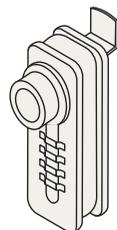
シリンダー錠

従来のシリンダー錠は、利用者と管理者が個別に鍵を管理する必要がある。



ダイヤル錠

鍵不要の管理しやすい外付けダイヤル錠。利用者/管理者は事前に設定した4桁の暗証番号で施錠、解錠できる。



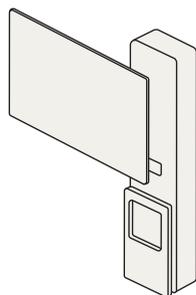
ナンバーロック

鍵不要の電子錠で、タッチパネル上で利用者が設定したコードで施錠、解錠できる。管理者はマスターキーを使用して解錠可能。



RFID カード

プログラム化した非接触ICカード、RFIDカードで利用者が施錠、解錠できる。管理者はマスターカードで解錠可能。



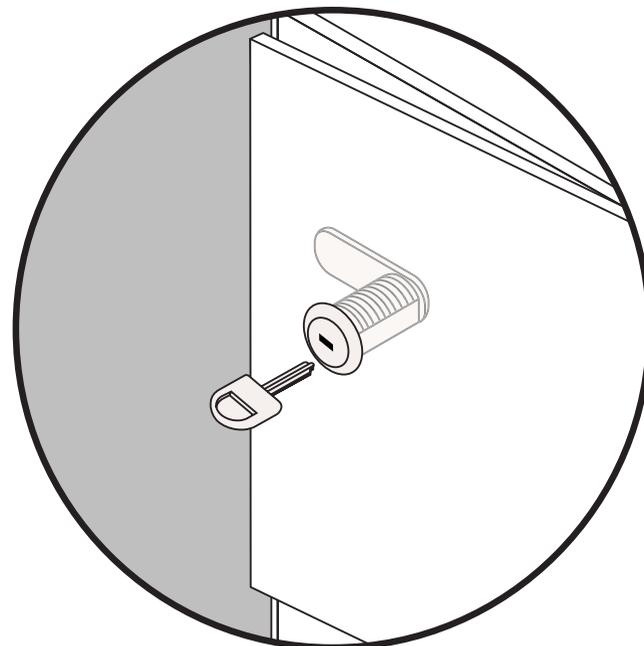
スマートロック

登録済みのスマホやカードをかざして手軽に施錠、解錠。ネットワークにつながると、利用者も管理者も遠隔操作や複数拠点での鍵発行が可能になる。

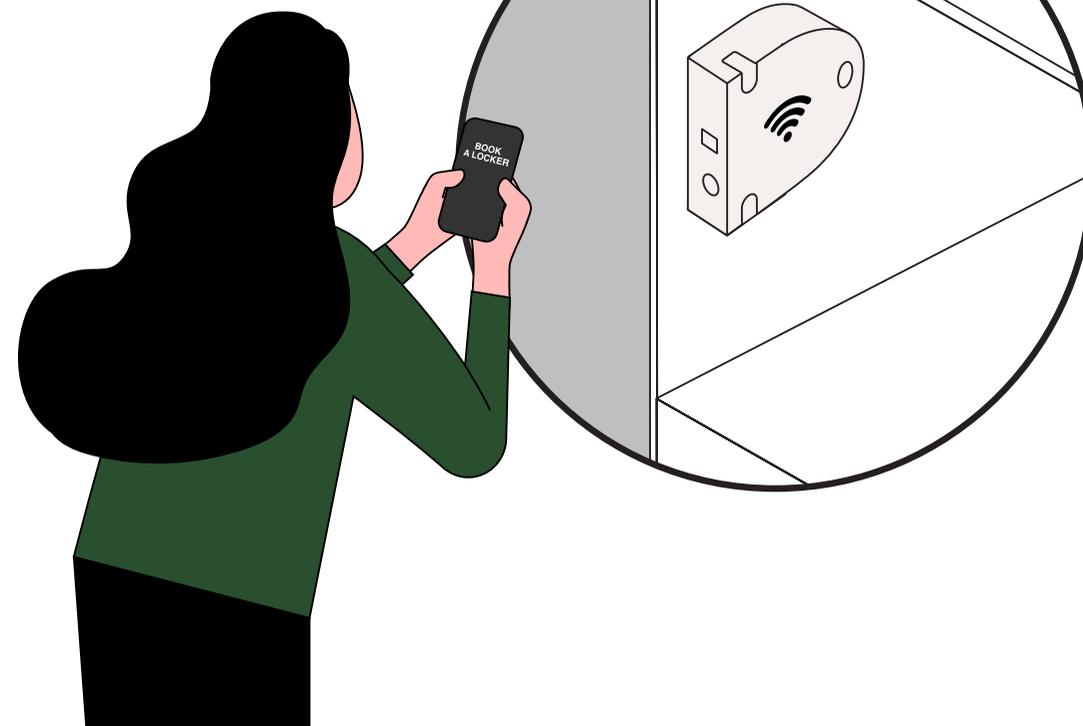


統合配線管理システムによって、初期導入はシリンダー式や電池式の鍵を取り付け、その後、ユニットを交換することなくスマートロック式にアップグレードできます。組織や個人のニーズの変化を見据えた高度な柔軟性が魅力です。

導入時

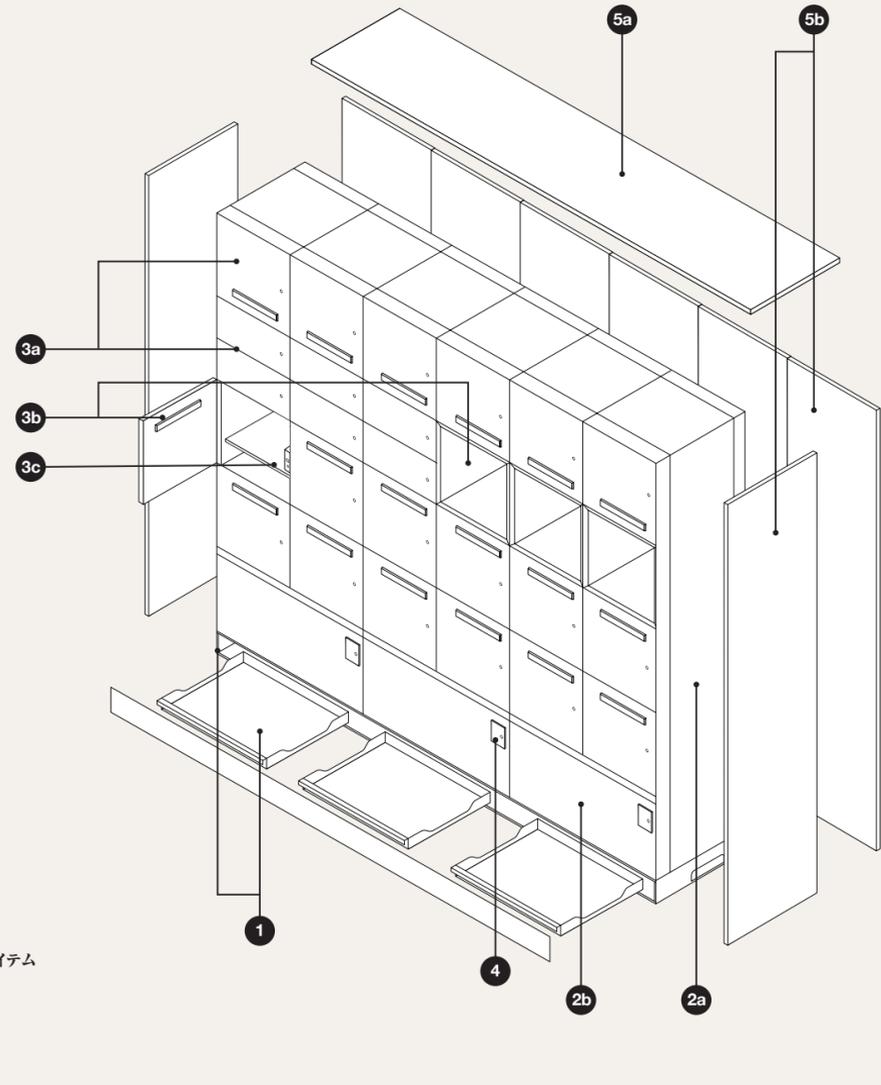


将来



Statement of Line

WorkValetは、人間中心設計を軸に利用者にとって使いやすいことを目指しました。カスタマイズの自由度、幅の拡張性、電動または手動の施錠オプションなどハイブリッドワーク新時代の収納ロッカーに必要なすべての要素を網羅しました。

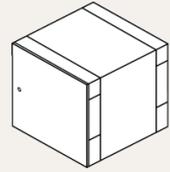


- 1 ベース
- 2a ロッカー段数
- 2b 引き出し
- 3a ユニット
- 3b ドア
- 3c パーソナライズアイテム
- 4 鍵
- 5a 天板
- 5b 側板・背板

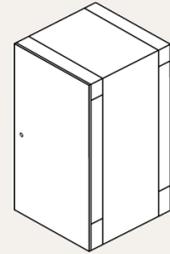
SOL

3. ロッカータイプを選ぶ

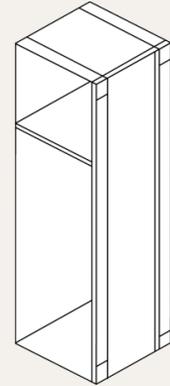
a. ユニットオプション



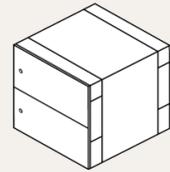
基本タイプ
左開き/右開き
400W*400H/450W*450H
500W*500H/500D
ドア:LPL/メタル



ダブルタイプ
左開き/右開き
400W*800H/450W*900H
500W*100H/500D
ドア:LPL/メタル



ワードローブタイプ

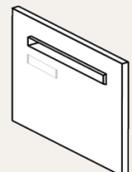


ハーフタイプ
左開き/右開き
400W*400H/450W*450H
500W*500H/500D
ドア:LPL/メタル

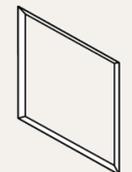
b. ドアオプション



名札

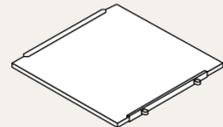


メールスロット

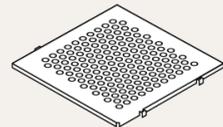


オープン棚

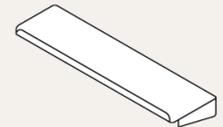
c. パーソナライズアイテムオプション



シェルフ



パンチングメタルシェルフ



オーガナイザー



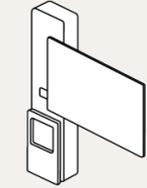
フック

4. 鍵タイプを選ぶ

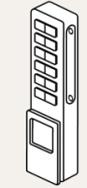
鍵オプション



スマートロック



RFIDカード



ナンバーロック



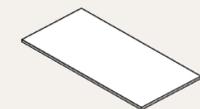
ダイヤル錠



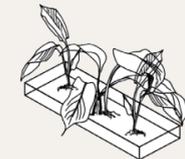
シリンダー錠

5. 表面部材を選ぶ

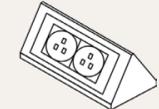
a. 天板オプション



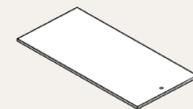
天板
800W~2000W
LPL/メタル



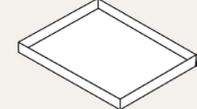
プランター
800W~1500W



電源ボックス
2口

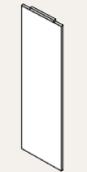


カウンター天板
端から端まで/端から中間
左/右側に電源口
800W~2000W



トレイ
1列幅/2列幅

b. 側板&背板オプション



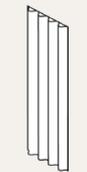
化粧側板
400W/450W/500W
800W~2000W
LPL/メタル



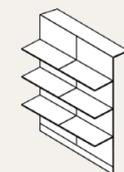
化粧背板
2ユニット幅/1ユニット幅
800W~2000W
LPL/メタル/布張り/PET



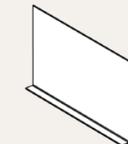
拡張用化粧側板



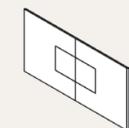
波型メタル化粧側板



背面シェルフ
800W~2000W



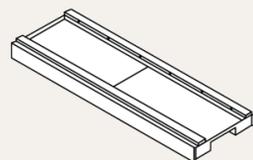
ホワイトボード
2ユニット幅/1ユニット幅



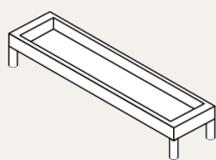
モニター取付用
W:1600/1800/2000

1. ベースを選択する

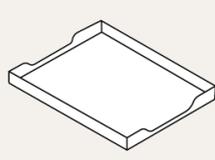
ベースオプション



台座ベース
800W-2000W



脚付ベース
800W-2000W



配線マネジメントトレイ
800W-2000W

2. サイズを選ぶ

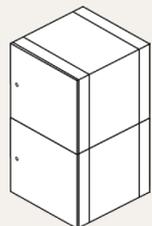
a. 段数オプション

まずは個々のロッカーのサイズと全体のユニット高を決めます。

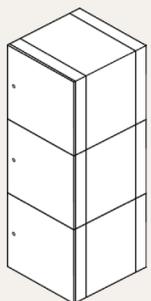
最小2段から最大5段までスペック可能。

各段のサイズは3種類から選べます:

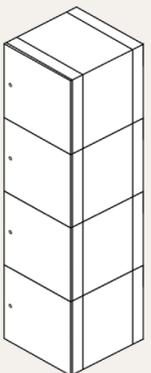
- ・ 400W x 400H
- ・ 450W x 450H
- ・ 500W x 500H



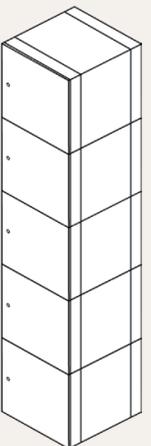
2段



3段

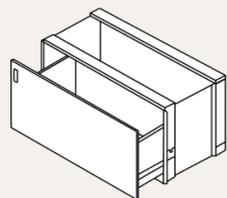


4段

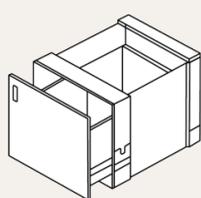


5段

b. 引き出しオプション



ダブル幅引き出し
400W*400H/450W*450H/500W*500H/500D
ドア:LPL/メタル



シングル幅引き出し
400W*400H/450W*450H/500W*500H/500D
ドア:LPL/メタル



汎用性

ロッカーの背面を活用して、モニター画面やホワイトボード、グラフィックなどを設置すると、便利なコラボレーションポットとしても機能します。



来訪者用

来訪者が訪問時に持ち物を収納できるロッカーの設置は不可欠です。



収納しやすい引き出し
使いづらいロッカーの下段には、オプションで引き出し配置が可能に



USB充電
Gantner(ガントナー)社の電子鍵システムは、USB 充電口を搭載し、ロッカーが使用されていない場合にはデバイス充電も可能です。



オープン棚
オープン棚は、モノを飾ったり、ロッカーに入れる前の準備用スペースとしても便利。棚板内側を柔らかなフェルト材にすることで、防音はもちろん、収納アイテムをしっかり保護します。

面取りエッジ
柔らかな印象を貫くようにエッジの細部に至るまでデザインが考え抜かれています。

メールスロット
従業員に向けての書類の投函や名札など各企業のニーズに合わせて構成をカスタマイズできます。

Workplace Neighborhoods

「オフィス・ネイバーフッド」の提案

街のようにオフィスデザインする「オフィス・ネイバーフッド」は、人が集う「ホームベース」。多種多様なスペースが相互に結びつき、汎用性の高い多彩なソーシャルな「場」をオフィスに創出できます。個人とチーム両方を念頭に綿密に計画されたスペースは、流動的かつ柔軟性に富み、カタチを変えながら働き方やニーズの変化に応えます。

WorkValetは、オフィスに新風を吹き込みます。自然と共存するバイオフィリックデザインを取り入れたラインナップやスマートロックシステムなど、時代が求める新たな価値を付加し、従来の脇役としてのロッカーをオフィスの中心的アイテムに。



Create Hubs for Teams

WorkValet™

Blueprint for Neighborhoods

チームの「ハブ」をつくる。設計デザイナーに要求されるのは、多様化する働き方やオフィスでのワークモードに適した多彩な「場」を創り上げること。固定式と可動式が混在し、各スペースが階層のように相互に連結する集合体の中で、WorkValetは、スペースを区切る間仕切りとしても、チームが集い、絆を深めるための「ハブ」としても活躍します。

自立型間仕切り機能を備えるWorkValetは、半個室のようなエリアからカジュアルなハドルスペースまで、これからのチーム活動を支えるバリエーション豊かなスペース創出の中心的存在として配置できます。

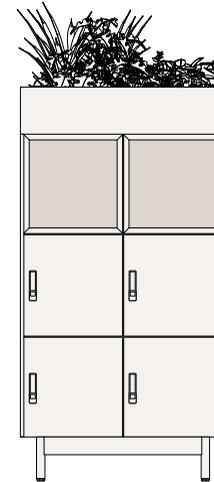


Create Totems & Destinations

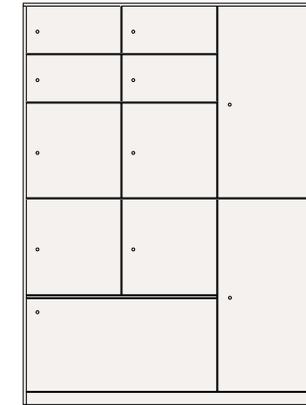
目的地としてのアイコン。WorkValetは、モジュラー式構造で汎用性が高いため、多彩かつ誰もが公平に利用できるオフィススペースを設計しやすいのも特長的です。画一的なオフィススペースを多用途な「目的」を持ったスペースへ、そして、実用性と快適さの両方をバランスよく備えたスペースへと変換します。



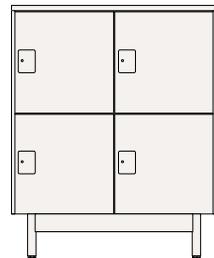
チームストレージ(小)
2段 x 2列



バイオフィリックハブ
2段 x 2列



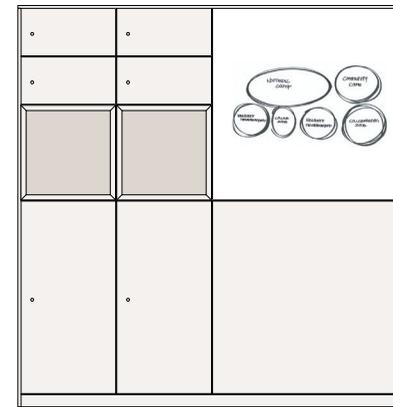
チームベイ
4段 x 3列



チームベイ(小)
2段 x 2列



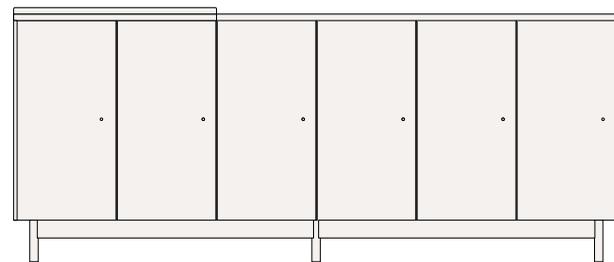
バイオフィリックバウンダリー
2段 x 6列



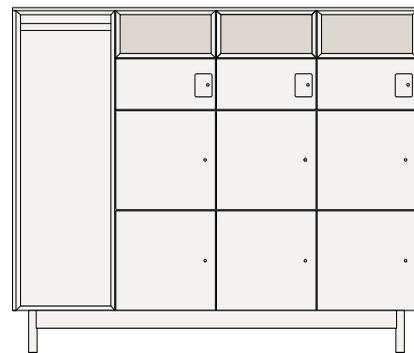
コラボレーションハブ
4段 x 4列



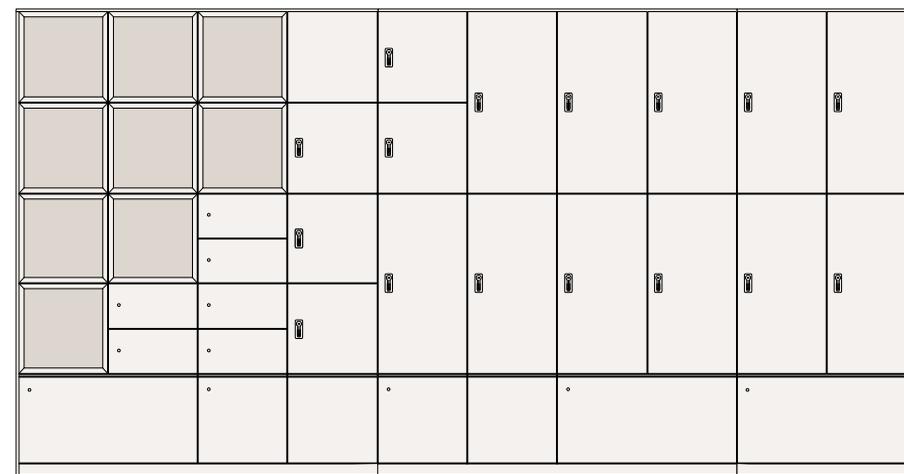
ビジターベイ
5段 x 5列



エグゼクティブバウンダリー
2段 x 6列



チームハブ
3段 x 4列

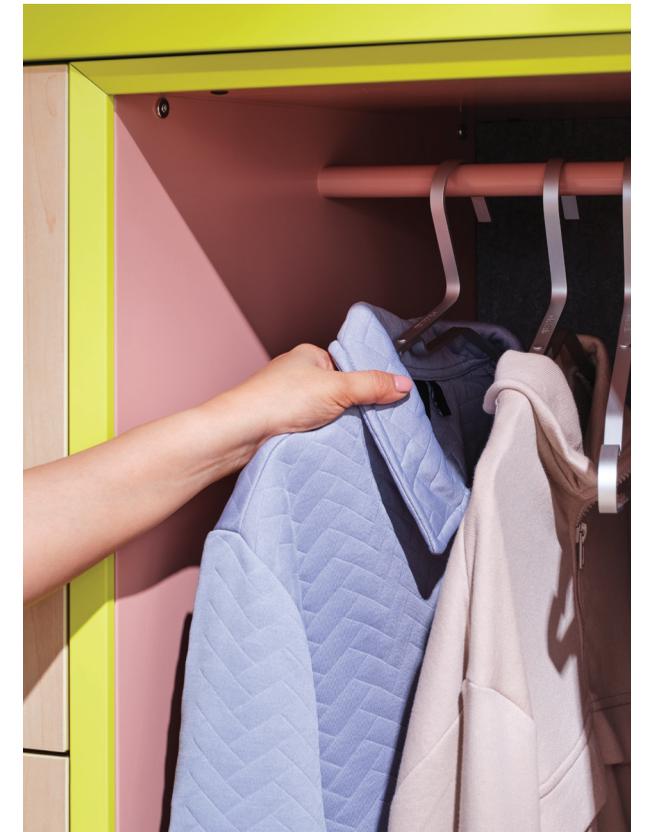


出社型ワーカーベイ
5段 x 10列



「棚やフックのようにデザインがシンプルであることはもちろん、利用者の使いやすさと管理者の運用のしやすさをバランス良く、いかに魅力的に仕上げるかを常に念頭に置いています。」

小辻 智子/Tomoko Kotsuji
Steelcase シニアインダストリアルデザイナー



フック

フックは取り外し可能で、煩わしいコード類をまとめたり、マグカップを掛けたりと整理整頓に役立ちます。



ワードローブ

デスク周りを乱雑にしない、コートや上着がシワにならないようにワードローブ収納は不可欠です。



棚とオーガナイザー

あなたのニーズに合わせて棚などのオーガナイザーを活用してロッカーの中を整理整頓しましょう！



Create Iconic Landmarks



ランドマーク的存在として演出。上質な素材を使うことで上品な質感を加えた空間の象徴的ピースとして演出できます。



トレイ

収納の一部を活用して飲み物等を置いたりなど、今日のオフィスでの細かなニーズにも対応した便利なトレイ。

脚付きベース

脚付きにして浮かせることで圧迫感を与えず、すっきりとした洗練された雰囲気を出しています。

カウンタートップ

カウンタートップは、スペースのデザインにシームレスに溶け込むようにカスタマイズ可能です。







Steelcase®

steelcase.jp



日本スチールケース株式会社

東京都港区南麻布5-2-32興和広尾ビル4F

TEL:03-3448-9611 FAX:03-3448-9617

©2023 Steelcase Inc. All rights reserved.

記載されている社名や製品名はSteelcase社及び関係各社の登録商標です。
本カタログの内容は予告なしに変更されることがあります。